

ウマティラインディアン 居留区部族連合について

INペンドルトン

岡山市子ども海外派遣団 中学3年 矢尾帆花

＜ウマティラインディアン居留区部族連合＞

- ☆位置 オレゴン州のポートランド市から東へ約350kmのところにある。
- ☆人口 約3000人
- ☆概要 インディアン居留区は先住民であるウマティラ族、カイユース族、ワラワラ族から成る。多くはワシャトと呼ばれる古代部族宗教を信仰している。現在もネイティブアメリカン独自の言語が残っていて、学校などで言語を保存するためのプログラムも行われている。

＜ホストファミリーのドンさんが教えてくれたネイティブアメリカンの悲しい歴史＞

コロンブスがアメリカを発見した時、ネイティブアメリカンは**200万人以上**いたらしい。彼らの文化や言語は、部族によって違っていたけど、彼らはワシャトという同じ宗教を信仰していて、**自然と一体**となって生活していたという。

しかし、**白人**がきてから彼らの生活には終止符が打たれ、土地も文化も命も、**どんどん奪われて**いった。それでも彼らは白人に服従することなく、戦い続けたが、20世紀には200万人以上もいたネイティブアメリカンは19世紀末には**25万人**となってしまった。

彼らにとっては侵略者から自分たちの生活を死守するための戦いであり、実際に野蛮で残酷だったのは白人側だったといわれる。

合衆国の発展と繁栄は、まさに**ネイティブアメリカンがいたからこそ**築かれたものだった。にもかかわらず、ネイティブアメリカンへの迫害や差別はとまらなかった。ネイティブアメリカンがやっと合衆国民と認められたのは1924年になってからだった。

＜現在のネイティブアメリカン＞

現在、収入・学歴・生活環境など様々なところで、ネイティブアメリカンは民族集団の中でも最下位に位置しているという。ネイティブアメリカンへの差別は根強いものがあり、今も合衆国の中でネイティブアメリカンがネイティブアメリカンとして生きていくことは簡単ではないようだ。だが、ネイティブアメリカンの人々は皆で団結し、もう一度土地を取り戻そうとしている。それには多くのお金が必要なので、インディアンカジノを作ったりしてお金を稼いでいるようだ。



＜アメリカで食べたおいしかったデザート＞



←dippin dots!(ディッピングドッツ)というアイス。**アメリカでおいしかったものNo.1!!**アメリカで生まれたアイスクリームで今や世界19か国で愛されている。黒いのはオレオで白いのはバニラアイスが粒状になったもの。



←日本の『りんごあめ』のようなもの。ただ、キャラメルでコーティングされ、上に沢山のアーモンドがのり、めちゃくちゃ甘い…
(*^_^*)